

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	広島歯科技工士専門学校
設置者名	学校法人 山陽女学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	歯科技工科	夜・通信	76単位	7単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「ホームページ <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a> 」 → 「情報公開」 → 「シラバス」
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島歯科技工士専門学校
設置者名	学校法人 山陽女学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

「ホームページ <https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp>」 → 「情報公開」 → 「財務諸表」

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社 代表取締役	令和 7.6.12 令和 10 年度 定時評議員 会	外部からの視点をもって適正に学園の運営を行う。
非常勤	株式会社 代表取締役	令和 7.6.12 令和 10 年度 定時評議員 会	外部からの視点をもって適正に学園の運営を行う。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島歯科技工士専門学校
設置者名	学校法人 山陽女学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>2月：学生アンケートを実施し、結果を参考に担当講師が翌年度のシラバスを作成</p> <p>2月：教育課程編成委員会の提言により、翌年の授業計画を協議</p> <p>3月：教育課程編成委員会での協議内容を参考に担当講師が翌年度のシラバスを作成</p> <p>4月：学生に配布し授業の方法および内容、到達目標、成績評価の方法、基準を説明</p> <p>5月：ホームページにて公開</p> <p>9月まで：後期講師によるシラバス作成</p>	
授業計画書の公表方法	「ホームページ <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a> 」→「情報公開」→「シラバス」
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価については、入学時のオリエンテーションで学生と保証人に説明している。</p> <p>各教科の到達目標は、学生便覧やシラバスに記載し、周知している。</p> <p>(毎学期末の試験、および卒業試験によって学修成果を把握・評価している。</p> <p>また、科目によっては、小テストおよびレポートの提出、実習においては作品を評価し、平素の成績とする。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標の設定・公表および成績評価の適切な実施については、オリエンテーションで学生と保証人に説明。</p> <p>各教科の到達目標は、学生便覧やシラバスに記載し周知している。</p> <p>(成績の評価及び順位は、以下の通りに設定して、優、良、可を取得した者に単位の認定をしている。「優」：100～80点、「良」：79～70点、「可」：69～60点、「不可」：59点以下)</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a> 学生便覧
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

「卒業認定・専門士称号授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」

1. 歯科技工に関する知識を理解し、補綴装置、充填物、矯正装置の製作・修理・加工などの基礎的な知識と技術を持っている。
2. 歯科医療に携わる専門職としての倫理観を備え、法令遵守および適切な業務管理を実践できる。
3. 臨床現場の課題に主体的に対応し、歯科医師・歯科衛生士と適切なコミュニケーションを図ることができる。
4. 社会人としての基本的な態度を身につけ、歯科医療を通じて社会福祉に貢献する意識を持っている。

「教育理念」

教育基本法、学校教育法および歯科技工士法の定めるところに従い、歯科技工に関する知識と技能を身につけ、歯科医師、歯科衛生士とともに歯科医療に貢献できる人材を育成する。

「教育目的および教育目標」

最近における、歯科医療の現状と技術の急速な進歩に応じて、歯科技工士としての必要な知識と技術を授けると共に、歯科医療の普及及び向上に貢献する心身ともに、明朗かつ健全なる歯科技工士の養成を目指し、福祉社会の建設に寄与することを目的とする。

〈教育目標〉

1. 歯科医療従事者としての意識、心構えなどに関わる知識を習得する。
2. 歯科技工の基礎知識と技術を身につける。
3. 実学を重視した実習指導を推進し、即戦力となる人材を育成する。
4. 地域の社会福祉に貢献できる人材を育成する。

\* 「卒業認定・専門士称号授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」を策定し、ホームページ、学生便覧にて公表している。卒業の要件は全科目必修であり、卒業に必要な単位を修得のうえ、卒業認定会議の議を経て卒業を認める。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページ <https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp> 学生便覧

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	広島歯科技工士専門学校
設置者名	学校法人 山陽女学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a>
財産目録	<a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a>
事業報告書	<a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科技工科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	76 単位時間/単位	470 時間 /30 単位	時間/単 位	2086 時間 46/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			76 単位時間/単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		44人	0人	6人	10人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 2月：学生アンケートを実施し、結果を参考に担当講師が翌年度のシラバスを作成 2月：教育課程編成委員会の提言により、翌年度の授業計画を協議 3月：教育課程編成委員会での協議内容を参考に担当講師が翌年度のシラバスを作成 4月：学生に配布し授業の方法および内容、到達目標、成績評価の方法、基準を説明 5月：ホームページにて公開 9月まで：後期講師によるシラバスを作成
成績評価の基準・方法
（概要） *客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施については、学生と保証人にオリエンテーションで学生と保証人に説明。 *各教科の到達目標は、学生便覧やシラバスに記載し周知している。 （成績の評価及び順位は、以下の通りに設定して、優、良、可を取得した者に単位の認定をしている。 「優」：100～80点、「良」：79～70点、「可」：69～60点 「不可」：59点以下）
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>「卒業認定・専門士称号授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科技工に関する知識を理解し、補綴装置、充填物、矯正装置の製作・修理・加工などの基礎的な知識と技術を持っている。</li> <li>2. 歯科医療に携わる専門職としての倫理観を備え、法令遵守および適切な業務管理を実践できる。</li> <li>3. 臨床現場の課題に主体的に対応し、歯科医師・歯科衛生士と適切なコミュニケーションを図ることができる。</li> <li>4. 社会人としての基本的な態度を身につけ、歯科医療を通じて社会福祉に貢献する意識を持っている。</li> </ol> <p>「教育理念」</p> <p>教育基本法、学校教育法および歯科技工士法の定めるところに従い、歯科技工に関する知識と技能を身に付け、歯科医師、歯科衛生士とともに歯科医療に貢献できる人材を育成する。</p> <p>「教育目標および教育目標」</p> <p>最近における、歯科医療の現状と技術の急速な進歩に応じて、歯科技工士としての必要な知識と技術を授けると共に、歯科医療の普及及び向上に貢献する心身ともに、明朗かつ健全なる歯科技工士の養成を目指し、福祉社会の建設に寄与することを目的とする。</p> <p>〈教育目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 歯科医療従事者としての意識、心構えなどに関わる知識を習得する。</li> <li>6. 歯科技工の基礎知識と技術を身につける。</li> <li>7. 実学を重視した実習指導を推進し、即戦力となる人材を育成する。</li> <li>8. 地域の社会福祉に貢献できる人材を育成する。</li> </ol> <p>1 学年での全科目必修であり、成績および出席時間を満たし、進級に必要な単位を修得のうえで、進級判定会議の議を経て進級を認める。</p> <p>2 学年での全科目必修であり、成績および出席時間を満たし、卒業に必要な単位を修得のうえで、卒業認定会議の議を経て卒業を認める。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>*クラス担任制で個別相談等の対応</p> <p>学年担任及び教務主任が学生、保証人と連絡を取り、面談を行うなどして対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	2人 (%)	11人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 歯科技工所、歯科医院			

<p>(就職指導内容)</p> <p>学校等の行う無料職業紹介事業について、ハローワークに申請し認可を受けており、企業から直接学校に求人票が送られてくる。学生が何時でも閲覧できる環境にある。また、進路（就職）担当者を2名おき、就職指導にあたっている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>歯科技工士の国家試験の受験資格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
令和7年度当初在学者数	令和7年度の途中における退学者の数	中退率
42人	8人	19%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、学業不振</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>修学、成績不振で悩んでいる学生や、心の病を患っている学生に対し、学年主任が相談にのっている。また保証人（保護者）と連携を取り三者面談を実施し、本人・保証人（保護者）と学校とで協議し、問題の対策を考え退学者の減少に務めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科技工科	300000 円	750000 円	350000 円	実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a> (自己点検・自己評価)		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会を年2回(7月、11月、2月)開催し、学校自己点検・自己評価、事業計画等に対して、提言し、学校運営の向上に寄与することを基本方針とする。 主な評価項目(教育理念・目的・人材育成、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の募集と受け入れ、財務、法令等の順守、社会貢献・地域貢献)		
学校関係者委員の構成 1 関連業界等関係者、本校の教育に関する分野の有識者 4名 2 卒業生 1名 3 その他校長が必要とするもの 1名 委員会運営は、委員の中から委員校を選出し、責任者となって運営に当たる。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
(一社) 広島県歯科医師会副会長	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日	業界等関係者
(一社) 広島県歯科技工士会副会長	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日	業界等関係者
歯科医師	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日	業界等関係者
企業役員	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日	業界等関係者
広島歯科技工士専門学校同窓会会長	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日	卒業生代表
保護者	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日	保護者代表
第三者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a> (学校関係者評価委員会)
(備考) 第三者評価は未実施

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a>
--